審査番号 G10114：

がんのクリニカルシークエンスと付随研究としての網羅的ゲノム・エピゲノム解析

利用目的・方法：	複数のがん関連遺伝子からなるターゲット遺伝子パネル（Todai OncoPanel）を作成し、腫瘍およびペア正常細胞のゲノムを次世代シークエンサーで解析することで、450種類以上のがん関連遺伝子の点突然変異・挿入欠失・遺伝子融合・遺伝子増幅・遺伝子欠失を一度の解析で明らかにする。またTodai OncoPanelには遺伝性腫瘍遺伝子も搭載しており、もし患者の生殖細胞系列ゲノムが遺伝性腫瘍遺伝子変異陽性である場合に、しかもその遺伝性腫瘍遺伝子変異のもたらす相対危険度が十分に高い場合は、希望のある患者およびその家族に解析結果を開示し、その臨床的意義について遺伝カウンセリングする。Todai OncoPanelの解析で発がん原因遺伝子が特定できなかった場合などは解析を拡大し、全エクソン解析、全ゲノム解析などの網羅的解析を行う場合がある。
利用情報：	腫瘍及びペア正常細胞のゲノム配列情報・遺伝子発現情報
試料の利用者の範囲：	東京大学および国立がんセンターにおいて本研究計画に記載の研究室で解析が行われる。 匿名化されたシーケンスデータは本邦の公共データベースに適切な形で登録される。研究結果は論文公開される。また同意撤回時点で既に解析が終了し、論文公開またはデータベース収載された場合はデータの破棄は困難である。
2019年10月 変更申請内容：	Todai OncoPanelの開発やシーケンス作業・解析作業の労務提供を行っている株式会社シスメックスおよび株式会社理研ジェネシスに加えて、研究資金の提供および解析作業の労務提供者としてコニカミノルタ株式会社が加わります。本研究の研究者の一部はコニカミノルタ社と共同研究契約を結び研究費を得ています。利益相反について利益相反アドバイザリー機関に申告し、マネジメントを受けています。 研究・解析は従来通り東大及び国立がんセンター内で行われます。
研究責任者：	宮園浩平
連絡先：	本研究に参加された際の医療機関・担当医にご相談ください。 不明の場合： 〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1　東京大学医学系研究科 分子病理学分野